

実習内容
ならびに
スケジュール

眼科

曜日	内容	担当	集合時間	集合場所
月	オリエンテーション、眼科診療の概要	野村／吉村	9:00	8号館5階カンファレンス室
	細隙灯顕微鏡、眼底鏡、眼圧検査 実習	野村／吉村	10:00	10-6病棟、暗室
	昼食		11:40	
	外来見学	藤本／三原	13:00	1号館2階眼科外来
火	白内障手術講義	佐藤／横山	9:00	8号館5階カンファレンス室
	昼食		12:00	
	手術用顕微鏡実習	斎藤	14:00	8号館5階カンファレンス室
	検査実習Ⅰ（視力、内皮、Aモード）／NICU	斎藤	15:00	8号館5階カンファレンス室
水	眼科手術見学	木村直／田片	9:00	アイセンター
	昼食		12:00	
	ロービジョン講義	中島	13:00	8号館5階カンファレンス室
木	網膜硝子体関連講義	岩見	9:00	8号館5階カンファレンス室
	昼食		12:00	
	検査実習Ⅱ（GP、HFA、ヘス等）	伊藤	14:00	8号館5階カンファレンス室
金	プレゼンテーション及び総括	五味	9:00	8号館5階カンファレンス室
	昼食		12:00	
	プレゼンテーション及び総括	五味	14:00	8号館5階カンファレンス室
	病棟回診	五味	15:30	10-6病棟、暗室

◎診療科名： 眼科

◎責任者氏名： 五味 文 主任教授

◎指導教員氏名：佐藤 孝樹 講師

◎実習概要

1. カンファレンス、2. 教授回診、3. 手術見学、4. クルズス、5. 細隙灯顕微鏡、眼底検査実習、6. 検査法実習、7. プレゼンテーション試験、8. 外来見学、などを行い、眼科領域の主要疾患の診断と、primary care ができるようになるために必要な知識、態度、技術を身につける。

◎各診療科における到達すべき学修成果（アウトカム）

（臨床実習の授業概要「到達目標（アウトカム）」に準拠する）

- 眼科検査法の大要を説明できる。
- 眼科主要疾患の症状、治療を列挙できる。
- 細隙灯顕微鏡で大きな異常（成熟白内障、重症虹彩炎、偽水晶体眼、等）の有無をチェックできる。
- 散瞳状態で眼底の精密図が描ける。
- 無散瞳状態でも視神経乳頭の浮腫・腫脹の有無、出血・白斑の有無をチェックできる。
- 眼圧測定検査を実施し、触診で異常高眼圧をチェックできる。
- 高血圧、糖尿病における眼底異常を説明できる。
- 眼外傷及び急激な視力低下をきたす疾患の治療を列挙できる。
- 急性緑内障発作の治療、処置を列挙できる。
- 視力が測定できる。
- 眼底写真をみて糖尿病網膜症、高血圧眼底、各種の出血、乳頭浮腫を説明できる。
- 外眼筋の働きと支配神経を説明できる。
- 眼球・眼窩に分布する主要な神経の働きを説明できる。

◎ 準備学修ならびに事後学修に要する時間

- 眼科学の総論を読んてくること（1時間程度）
- 3年次の講義資料を復習すること（1日）
- 眼科領域の国家試験過去問を解いておくこと（2時間）

◎ 評価方法

知識、態度（積極性）、コミュニケーションについて5段階で評価。
評価基準をルーブリックで明示。

【知識★】

点数	基準
5	1) 初期臨床研修医レベル 2) 病気の定義・診断基準を非常によく理解している。
4	1) 臨床実習の終了時点で期待されるレベル 2) 病気の定義・診断基準を正確かつ明瞭に説明できる。
3	1) 臨床実習時の中間時点レベル 2) 病気の定義・診断基準を正しく述べられる。
2	1) 臨床実習の開始時レベル 2) 病気の定義・診断基準を正しく述べられない。 3) 病気の標準的な治療と予後を述べられない。
1	1) 臨床実習の開始前レベル 2) 知識不足

【態度（積極性）★】

点数	基準
5	1) 自分の受け持ち患者がいなくても回診、カンファレンスに自主的に参加し、発言を行う。 2) 非常に積極的である。
4	1) 自分の受け持ち患者がいなくても回診、カンファレンスに自主的に参加している。 2) 積極的である。
3	1) 自分の受け持ち患者がいなくても回診、カンファレンスに参加はしている。 2) やや積極性に欠ける。
2	1) カンファレンス中に居眠りをする。 2) 睡眠不足で精気がなく、欠伸を繰り返す。 3) 与えられた課題以外の学習をしない。 4) 促されて質問はするが、質問内容のレベルが低い。 5) 回診、カンファレンスを欠席する。 6) 積極性に欠ける。

【態度（積極性）★】

点数	基準
1	1) 無断欠席、無断遅刻、無断早退、欠席連絡が遅い。 2) インフォームドコンセントなど患者同席の場で、居眠りをする。 3) 実習を抜けて、クラブの練習や趣味に時間を割く。 4) 欠席に対して、嘘の理由を言う。 5) 患者・コメディカルスタッフ・同級生とトラブルを起こす。 6) 症例検討会などで、いっさい自発的な質問をしない。 7) 勉強意欲が全くなく、実習時間を無駄に過ごす。 8) 担当患者の疾患について、予習・復習をしない。 9) 全く積極性が見られない。

【コミュニケーション★】

点数	基準
5	1) 非常によく行っている。 2) 周囲への配慮が示せる。 3) 能動的である。
4	1) 十分に行っている。 2) 積極性が見られる。
3	1) 標準的に行っている。 2) 積極性は見られないが、周囲と良好な関係を築くことはできる。
2	1) 十分とは言えないが、最低限は行っている。 2) やや協調性に欠ける。
1	1) 不十分である。 2) 無視する。 3) 協調性に欠ける。 4) 不適切な発言、暴言を吐く。

【プレゼンテーション】

点数	基準
5	1) 必要な情報が非常にわかりやすく提示されている。 2) スライドのデザイン・レイアウトが非常に優れている。 3) 論理的で、非常にわかりやすい。 4) 声の大きさ・速さ・間が非常に適切。 5) 質疑応答に的確に対応できる。 6) 学術集会での報告レベル
4	1) 必要な情報がわかりやすく提示されている。 2) スライドのデザイン・レイアウトが優れている。 3) 論理的で、わかりやすい。 4) 声の大きさ・速さ・間が非常に適切。 5) 質疑応答に対応できる。
3	1) 必要な情報が過不足なく提示されている。 2) スライドのデザイン・レイアウトが標準的である。 3) 論理性がある。 4) 伝え方に一部指導が必要だが、大きな問題はない。 5) 質疑応答にある程度、対応できる。
2	1) 必要な情報が十分に提示されていない。 2) スライドのデザイン・レイアウトがやや劣っている。 3) 論理性を欠く部分がある。 4) 声の大きさ・速さ・間が不適切。 5) 質疑応答に十分対応できない。
1	1) 必要な情報が提示されていない。 2) スライドのデザイン・レイアウトが非常に劣っている。 3) 論理性を全く欠く。 4) 声の大きさ・速さ・間が非常に不適切。 5) 質疑応答に全く対応できない。 6) 準備が全くできていない。

【評価補足】

実習中以下の評価を行う。

金曜午後 プレゼンテーション試験

クルズス、手術見学中など適時 口頭試問

◎中間評価とフィードバック

金曜、プレゼンテーション試験とあわせて行う。

◎注意事項

- ・遅刻及び欠席する場合は、本人（無理な場合は保護者）が必ず当日朝に医局に連絡すること。
- ・月曜日は9時00分に8号館5階眼科カンファレンス室に集合する。
- ・眼底検査は学生相互に行う。散瞳するため、当日の車の運転は不可。コンタクトレンズ装用者はレンズケースを持参すること。

<ローテーション>

通し番号1・2・3は第1週目に眼科、第2週目に形成外科、第3・4週目に救急科

通し番号4・5・6は第1週目に形成外科、第2週目に眼科、第3・4週目に救急科

通し番号7・8・9は第1・2週目に救急科、第3週目に眼科、第4週目に形成外科

通し番号10・11・12・13は第1・2週目に救急科、第3週目に形成外科、第4週目に眼科

*特別カリキュラム受講学生のうち臨床実習に回らない者がいるグループにおいても各個人の「通し番号」を元に上記内容で班分けとする。